

## 日光白根山山行報告

【山行日】2018年12月16日(日)晴れ後曇り

【集合】栃木市運動公園P AM 4:30

【費用】マイカー1台 : 2,400円

【メンバー】CL: 鈴木、石川、伊藤、岩淵、岡、香川

【コースタイム】栃木市運動公園P4:30＝

菅沼P6:20/6:50～弥陀ヶ池8:45/9:00～

白根山10:00/10:20～弥陀ヶ池11:15/11:45～

菅沼P13:00/13:15～ホテル「おおり」13:30/14:10

＝栃木市運動公園P15:30



毎年雪山シーズン初めに行っている、日光白根山新雪トレーニング山行を計画した。

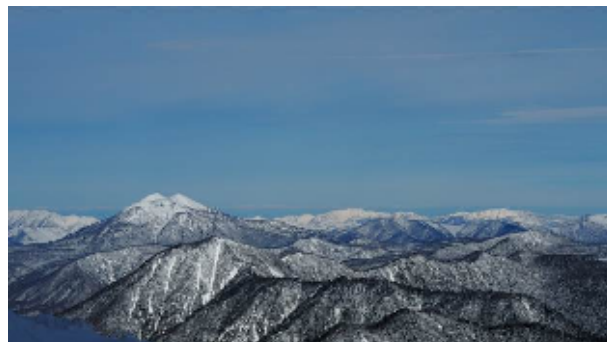


今年も宇都宮 HC が同じコースを計画しており、八木澤氏から連絡をいただき大変心強く、安心して登ることが出来た。東北道から日光宇都宮道路を走り、いろは坂を登って赤沼茶屋のトイレに着くと、宇都宮 HC はすでに到着し準備をしていた。我々はトイレだけ済ませ、準備は菅沼駐車場ですることにして出発した。

金精トンネルまでの道路にはほとんど雪が無

かったが、トンネルを抜けると雪が凍結しハンドルを取られる。今年は雪が少なく、菅沼登山口駐車場に車を止めることが出来た。準備を整えストレッチが済んだら出発する。積雪は20～30cmくら

いだが、先行した登山者に踏み固められ歩きやすい。登山口の案内板を右に進むと、広葉樹の沢沿いの道になる。やがてコメツガやシラビソの針葉樹林帯になり、ジグザグに登山道を登ようになる。コメツガやシラビソの樹に雪が積もり、プチ樹氷のような木々が雪山の景色を楽しませてくれる。今回はパーティーの足並みがそろい、順調に高度を上げて行く。弥陀ヶ池まで0.5Kmの道標がある所で休憩し、水分を補給し疲れた足を休める。



ここから少し登ると傾斜が緩くなり、まもなく弥陀ヶ池の畔に着く。凍った池の上を通り弥陀ヶ池の奥の広場で休憩し、ここからの急登に備えてアイゼンを装着する。座禅山の鞍部まで緩やかに登り、ここから左に向かい急な登りに入る。高度が上がると森林限界を過ぎ、眼下には弥陀ヶ池や菅沼、会津の山々が望め鬼怒沼も確認できた。

雪は例年よりかなり少なく、先行者のトレースがあるので歩き易い。道は増々急になり、ルンゼ状の岩場を登ると岩尾根に出て強い風が吹いている。風が当たらない場所まで進み、小休止して疲れた体を休める。この先で標識に従って一旦下り、大きな岩の間を縫って登ると白根山山頂に出る。眺望は良いが風が強く、顔が冷たいので、記念写真を撮ったらすぐに下山開始する。往路で休憩した風が当たらない場所まで戻り、ここで休憩を取りドラ焼きをいただきながら眺望を楽しむ。男体山や大真名子山、太郎山などの日光連山が間近に見え、尾瀬の燧ヶ岳や会津駒ヶ岳等々が見渡せる。眺望を楽しんだら往路を戻り、弥陀ヶ池まで一気に下る。風があるので弥陀ヶ池北端の樹林帯に入り、雪を踏み固めてランチタイムとする。各自持参した昼食を食べ、エネルギーを補給したら、菅沼登山口を目指して下山する。樹林帯に入ると風も無くなり、快調に下り計画よりも2時間早く下山できた。今回は天気に恵まれ順調に登ることが出来、2月の天狗岳や上州武尊山山行に向けて良いトレーニング山行が出来た。



下山路の風景

下山後、湯元温泉のホテル「おおるり」で温泉に浸かり、冷えた体を温めてから帰路につく。帰路の高速道も順調に走り、栃木市運動公園に予定より早く帰着出来た。